

## 一者応札・応募事案フォローアップ票(令和元年度分)

法人名	独立行政法人国際交流基金	
案件番号		
入札及び契約方式	一般競争	
契約の件名及び数量	関西国際センター IT・電子機器サポート業務委託契約	
契約締結日	令和1年12月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本アクセス株式会社	
入札経緯及び結果	令和1年9月20日 入札公告(個別声かけ4者、資料請求2者) 令和1年11月11日 入札説明会(参加1者) 令和1年11月13日 仕様書に係る質問受付締切(質問0件) 令和1年11月20日 入札・開札・落札者決定(応札1者)	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	業務履行場所が大阪の中心部から離れていることによる地理的問題(業者人員体制が整わない)が一者応札の主要な理由と考えており、また業務内容にも大きな変更がなかった為、今回仕様変更はしなかった。次回入札時に、業務内容に変更があれば見直しを行う予定。
②業務等準備期間の十分な確保	×	入札から業務開始までの期間が約10日間と十分に確保できていなかった為、今後は、業務準備期間を十分に確保するよう努める。
③公告期間の見直し	○	公告から説明会まで52日間(前回は21日間)を確保し、十分な公告期間を設けた。今後も同程度の公告期間を確保するよう努める。
④公告周知方法の改善	○	公告周知を4者(前回は3者)に行った。今後も、Web検索で探した業者など複数のIT業者へメールや電話で案内を送ることで周知を図る。
⑤電子入札システムの導入	×	今のところ導入の予定はない。
⑥業者等からの聴き取り	○	今回入札の案内をしたが参加を辞退した業者に対して、アンケート調査を行い、今後の改善点の聴き取りを行った。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
地理的に業務履行場所に近い業者の情報収集をしつつ、公告周知をより多くの者に行うよう努め、また公告期間に余裕を持たせ、より多くの応札を促すこととしたい。		
契約監視委員会のコメント		
基金の取組みは妥当であると考えている。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き上記取組みを実施していく。		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
渡邊一弘委員、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員		